

ぞあるかいみにすべし、女らよと月の光に筆とりつ。

乙未秋十月

稼堂陳人批

第五高等學校開校紀念式の歌

助教授 園 哲雄

阿蘇の峰より

いや高さ

君が御蔭に

立初めし

學びどころの

さうえゆく

その本つ日を

ことほぎて

本にむくいん

眞心の

あかきはやがて

日の本の

光ともなり

大君の

御稜威やち代に

ういやかむ

述懐

禾の舎あるじ

君をおもふ道一筋をたかへすは骨はかりとも身はならはなれ

小濱道中小學子どもの車をわひくるがらうかはしくて

車にゆられながらかきて與へける

たれか子を跡れふをの子あはれやとみるもわか子に思ひあはせて

山中に水の上下にながるゝあり

末終に海にこそ入れ溪川のえたゆくもあり上ゆくもあり

藤の谷橋といふ橋のかゝれるに

山高みかゝる坂路をいつまでかよち登れとやふぢの谷はし